

ふらっぶ通信

第17号

社会福祉法人
なつな学園
サービスセンター
ふらっぶ通信

新しい法律について

滝沢 一人

今回は真面目な話です。先日八月三十日（火）内閣府 障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言が出されました。

基本的な方向性として、障害当事者を保護の対象から権利主体へと変革するという姿勢に期待感を強くしました。

もともと自立支援法の制定は介護保険と障害福祉施策を統合することを視野に入れていたといわれています。応益負担、障害程度区分、日額制等が導入されたのもそのためでしょう。その結果様々な反省が各方面から寄せられ、新たな総合的な福祉法の制定が求められてきている状況です。

そんな中で新たな福祉制度の構築に当たっては、現行介護保険制度との統合は前提としない方向で進められることとなっています。

提言の中では次のように表現されています。

「障害者総合福祉法は、障害者が等しく基本的な権利を享有する個人として、障害

の種別と程度に関わりなく日常生活及び社会生活において障害者のニーズに基づく必要な支援を保障するものであり、介護保険法とはおのずと法の目的や性格を異にするものである。この違いを踏まえ、それぞれが別個の法体系として制度設計されるべきである。」

「介護保険対象年齢になった後でも、従来から受けていた支援を原則として継続して受けることができるものとする。」

私たちが、この間感じてきたことですが、何よりも大切なことは何時どんな時でも（例えば六十五歳以上になっても）それまでの地域生活がそのまま継続保障されることだと思います。どちらを使うかは当事者が決めればよいことで、どちらでも良いと思う方を使えるようにする法律の幅が大切だと思います。選択併用ということですね。

その事によって六十五歳以上で何らかの状況で障害者となられた人も勿論障害福祉のサービスが受けられるようになる。そんな幅の広いサー

ビス体系を期待します。

また、新たな法律では支給決定を行う際、従来の障害程度区分は使わない方向で審議が進められているようです。“障害の程度がこれだから、これだけのサービスを使いなさい”ではなく、“どんな暮らしがしたいか”が大切にされる法律であってほしいと願います。当事者の意向や願い、望む暮らし方を最大限尊重することが基本であるべきです。

ここで大切になってくるのが意思決定支援です。親兄弟でなく関係者でなく本当の当事者の声を誰がどうやって拾うのか？特に知的障害の方の成年後見制度利用率は極めて低いと聞きます。彼らの意思はその人と日常的に直接支援する親兄弟、支援者の意思と相互関係の中で決定されている現実を私は否定できません。真の意思決定支援をどのように形にしていけるのか、期待し注目したいと思います。

これらの内容は、まだ素案の段階であり、上記内容が法制度として決定したわけではありません。未だかつてないような政治の状況です。政局自体が不安定な昨今、これからの政府の対応、動向を注意深く見守っていかねばと思います。

障害者虐待防止法が成立

6月17日の参議院本会議で、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（略称：障害者虐待防止法）が、賛成多数で可決成立した。「障害者虐待防止法」は、養護者、障がい者福祉施設従事者、使用者（雇用主）などによる障がい者への虐待を防ぐ目的で制定された。制定の背景には、近年、知的障がい者施設の職員による利用者への暴行事件が後を立たないなど、障がい者に対する虐待が社会問題化している現状が挙げられる。条文では、障がい者に対する虐待は「障がい者の尊厳を害する」行為と位置づけ、障がい者の自立や社会参加を促すためには虐待の防止が極めて重要と明記している。また、虐待を受けたと思われる障がい者を発見した者に対しては「速やかに、これを市町村に通報しなければならない」とし、「通報義務」があることも明記された。一方で学校、保育所、医療機関に対しては、虐待の防止や障がい者に対する理解などを促進するために「必要な措置を講ずる」と記すにとどまった。

引用：雇用・就労情報最前線 障がい者の働く場ニュース7月13日付

全身の筋肉が動かなくなる難病 ALS新薬臨床試験へ 東北大学

東北大学は7月8日、全身の筋肉が次第に動かなくなっていく難病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の進行を遅らせる

新薬の臨床試験（治験）を8月にもはじめると発表した。神経細胞を保護する働きのあるたんぱく質を投与し、安全性や硬貨を調べる。3～4年後にも実用化したい考えだ。引用：日本経済新聞7月9日

平成24年2月4日（土曜）、京都府立京都高等技術専門学校において、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、京都府職業能力開発センター、京都府の主催で、第9回アビリンピック京都大会が開催されます。

この大会は、障害のある方々に技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持てるよう職業能力を高めていただくとともに、多くの府民や事業主の皆さんに、障害者の技能に対する理解と認識を深めていただくことで、障害のある方々の雇用促進と職業安定を図る目的で毎年開催するものです。


参加者募集が京都府のホームページに掲載されています。

第9回アビリンピック京都大会開催！

アビリンピックとは？

「アビリンピック（ABILITY LYMPIC）」は、障害のある方の職業的自立を喚起するとともに、事業主及び一般社会の理解と認識を深め、さらに親善を図ることを目的として実施される大会です。名称の由来は、「アビリティ（ABILITY）」と「オリンピック（OLYMPIC）」の造語で、正式な名称は、「障害者技能競技大会」です。

以前喫茶競技にお手伝いとして行ったことがありますが、みなさん、緊張の中にも真剣な面持ちで注文を聞き、コーヒーを運んでおられる姿が印象的でした☆



だんごはなまのカーペンタ

法人なづな学園のある東山区渋谷通り上新シ町の修道洛東園（特別養護老人ホーム）内に、今春6月1日（水）より、地域交流センターとしてカフェなづながオープンいたしました。喫茶スペースあります！、その他ミニギャラリーとしてなづなの利用者の皆さん手作りのオブジェ、クッキー、雑貨の販売などもされております！

木と落ち着いた音楽に包まれながらまったりとコーヒーを飲むのなかなかのいい感じですよ☆私のおススメは手作りクッキーを買って、コーヒーで一服！です。ぜひみなさんも一度足を運んでみてください！

【営業のご案内】
（今後変更の可能性
もあります）

■時間
9:30～15:30
■定休日
祝・土・日曜日



7月30日～31日に、大江山の家へ夏キャンプに行ってきました！到着してからすぐにスイカ割り☆なれない目隠しに少しこ

～2011・夏キャンプ～

わごわながらも、思い切ってスイカめがけてふりきっておられます！！最後にはきれいに？こなごなに？割れたスイカを、大きいのから小さいのまで種を丁寧にとってかぶりつく表情がなんともいえずおいしそう～バーベキューでは、肉！野菜！やきそば！ご飯！みなさんそれぞれに好きなものをお腹一杯食べられたようです。いっぷく休憩してから、キャンプの夜はお決まりのキャンプファイアー☆「燃えろよ燃えろ」で火をあおってから「アブラハムの子」でダンス、リクエストタイムでは、「天城越え」や「勇気100%」、「世界にひとつだけの花」、アニメソングも飛び出して、とても盛り上がりました！終わってからは花火☆手持ち花火や噴出花火で夏の夜空をいろいろな色で飾りました（^-^）

二日目の朝手作りホットドッグの作り方は生の具材挟んでからアルミホイルを二重に巻いて、牛乳パックの中に入れ、その牛乳パックを燃やすだけ！すべて燃えたあとにはあつあつの出来立てホットドッグ☆近くの川で川遊び～は、ひんやり水に足をつけて涼まれる方や、水鉄砲でびしょぬれになる方、のんびり、わいわいそれぞれに楽しまれていました☆

どんぐりだより



陶器祭り

8月7日（日）から10日（水）まで京都・五条坂で陶器祭りが行われました！毎年同法人施設、なづな学園とかしの木学園がそれぞれ出店しております！



みなさん本当にお疲れ様でしたm(..)m
約400店が出店され、全国からお客さんが集まります。掘り出し物もあるかも！！京都の夏の風物詩のひとつ、陶器祭りにぜひ一度足を運んでみてください！



ふらっぶの動き

その他の部分で、仕事をピックアップしてみました。研修・意見交換などを主に記しました。

※この他にも、毎月法人全体の管理者会議や理事会などが定例で行われています。

- 5月17日 ☆ 右京居宅介護事業所意見交換会
- 6月21日 ☆
- 7月19日 ☆
- 7月26日 ☆ ヘルパー連絡・勉強会
- 8月7日 ☆ ヘルパー連絡・勉強会

京都スポーツの殿堂ホール オープン!

京都市は6月18日に、京都ゆかりのスポーツ選手の功績をたたえる「京都スポーツの殿堂」の展示ホールが、右京区の西京極運動公園内の市民スポーツ会館1階に開設されました。殿堂入りした選手たちのユニフォームやグローブ、バトンなどが展示されています! 第1回の殿堂入りは、吉田義男さん・衣笠祥雄さん(元プロ野球選手)、朝原宣



治さん(元陸上選手)さて次回は誰が殿堂入りとなるのでしょうか? 年末年始を除き無休で午前10時~午後5時。無料。
引用: 京都新聞より



☆知ってました!?

2011年6月25日~7月4日の10日間にかけて、オリンピック発祥の地であるギリシャ共和国・アテネでスペシャルオリンピックス夏季世界大会が開催されました。本大会は世界185の国と地域より約10,000人の選手団が参加し、22の公式競技を行いました。日本選手団は全員で75人が直接現地へ行って



Special Olympics
Nippon

~スペシャルオリンピックス~

日ごろの練習の成果を競いあってこられ、出場は、水泳競技、陸上競技、バドミントン、ボウリング、ゴルフ、体操競技、卓球、テニス、バレーボールの9種目でメダルもぞくぞく獲得されたようです!! また冬季大会も福島で行われるようです、折があったら応援しましょう。乞うご期待! スペシャルオリンピックスHPアドレス
<http://www.son.or.jp/index.html>

編集後記

この間、大江山のキャンプへ行ったら、夜とても晴れていたので、星がキラキラと見えてきた。無数の星が見え、とてもきれいでした。しばらく見ていると2つと流れ星。ふと東北と被災地のみなさんも同じ星の光が見えてくるのかと思う。遠いようでも、近くのような気がします。願いをしました。私も欲張った気もしますが、全部叶いますように。

